



はしもと

〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます
常に新しく良質な医療ができるように心がけます
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟の看護師の役割

- 回復期リハビリテーション病棟とは、リハビリテーションを行い、できる限りの障害の改善と日常生活動作の自立を目的とした病棟です。
- 回復期リハビリテーション病棟での看護師の役割は、疾病を考慮して全身管理を行い二次合併症の早期発見や予防に努めること、患者様がその日のリハビリをスムーズに行えるように体力・筋力をつけることです。そして、患者様の要望を聞き、日常生活全般の援助を行いながら、安心してリハビリを進められるように、また「できる能力」を日常生活に取り入れ「している能力」となるように支援していきます。



回復期リハビリテーション病棟の作業療法士の役割

- 回復期リハビリテーション病棟での作業療法士の役割は、患者様が望む生活像を把握し作業活動や生活動作訓練を中心に体の諸機能の回復・維持を図ります。障害によっては、病前通りの生活動作・趣味活動が困難な患者様もいらっしゃるため、その様な方には「福祉用具」を使用し動作練習を行います。
- 「福祉用具」と聞いて皆様が思い浮かべるのは、電動ベッドや車椅子ではないでしょうか？しかし、高齢者や障害者の自立に役立ち、介護する方の負担を軽減する、そんな役割のある用具もあります。平成12年に施行された「介護保険法」では、「心身の機能が低下し日常生活を営むのに支障がある要介護保険者の日常生活上の便宜を図るための用具及び要介護者等の機能訓練のための用具であって、要介護者等の日常生活の自立を助けるもの」としています。私たちは、こういった「福祉用具」も使用しつつ患者様が少しでも生活動作や趣味活動が自立できるよう支援をしていきます。



認知症治療病棟

認知症治療病棟では、認知症の症状の程度を知るための検査を実施しています



認知症の症状は認知症の種類によって異なります。聞いたことをすぐに忘れてしまったり、覚えたことを思い出せなくなったりするといった記憶に関することや、今日の日付や今いる場所に関する情報といった見当識に関することが曖昧となるということ、また文字を読んだり書いたりすることや、理解力や判断速度の低下、そして集中力の低下などが多くの方に見られます。そして、上記のような知的な能力の低下が進むことにより日常生活全般に支障が出てくる状態となります。

当院ではまずご入院された際に、上記の症状がどの程度かを知るために“MMSE”という認知機能検査を受けていただいています。そして入院後も定期的にこの検査を受けていただくことによって、患者様の現在の認知機能の状態を確認しながら、日々の治療にあたっています。

検査の実施にかかる時間は15分程度で、比較的簡便ではありますが患者様にかかる心理的及び身体的負担が少なくなるよう配慮して実施するよう心掛けています。

【MMSE とは】
国際的に使われている認知症スクリーニングテストのひとつ

10～15分

0点 23点 27点 30点

認知症疑い 軽度認知症疑い 正常

Mini-Mental State

1. 時間の見当識

今年は何年ですか。 [] 年

今季節は何ですか。 []

今日は何曜日ですか。 [] 曜日

今日は何月何日ですか。 [] 月 [] 日

2. 場所の見当識

ここはなに県ですか。 [] 県

ここはなに市ですか。 [] 市

ここはなに病院ですか。 [] 病院

ここは何階ですか。 [] 階

ここはなに地方ですか。 [] 地方

3. 単語の記名

物品名3個（相互に無関係） []

検査者は物の名前を1秒間に1個ずつ言う。その後、被検者に繰り返させる。正答1個につき1点を与える。3個すべて言うまで繰り返す（6回まで）

何回繰り返したかを記せ [] 回

4. 注意

100から順に7をひく（5回まで）。あるいは「フジノヤマ」を連唱させる []

家族会 / 歩く介助の方法について ～杖歩行の場面～

当院では「家族会」と題し、回復期リハビリテーション病棟に入院中の患者様のご家族様に対し、当院スタッフがテーマに沿った講演を行い、退院後の不安や心配事を入院中に少しでも解消していただくための会を実施しております。

今年は昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に伴い、対面形式での会は実施できない状況にあります。そのため今回はこの紙面を利用して、**杖を使って歩く際の介助方法のポイント**について お伝えいたします。

脳卒中や骨折の後も、自分の足で歩き目的地まで移動できる事は非常に重要ですが、一方で力が入り過ぎ介助する側もされる側も疲れる動作の一つと言えます。可能な限り介助される側の力を邪魔することなく歩けることが大事です。



<介助のポイント>

- ◎ 一般的に、**杖は動き難い側とは逆側の手**に持ちます。
- ◎ 介助をする方は**杖とは逆側に立ち**、杖を持っていない方の手を支えます。
- ◎ 介助される方の**歩くスピード、歩幅に合わせて**動きます。引っ張ったり力が入り過ぎることは、逆に歩行の妨げになります。
- ◎ 介助される方の左右への動きに合わせて、介助する側も同じように動きます。



- ★ 靴のサイズは合っているか
- ★ 転ぶ原因になるような障害物（コードやカーペットの淵）が無いかなども合わせて注意をしてみてください。

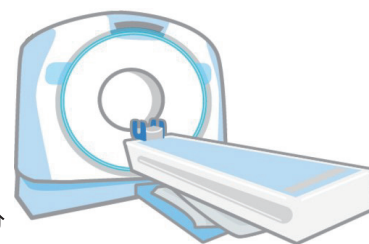


外来・放射線部

CT検査を受けられる患者様へ ～ CT検査同意書について ～

CT検査による被ばくは検査部位や方法で異なり、実際の被ばく線量は増減します。一般的には、100mSv以下の放射線被ばくによる影響はほとんどないと考えられています。発がんのリスクにおいても、食事やストレスなど放射線被ばく以外の因子によるリスクと区別できないと言われています。

当院では、定期的にCT装置の点検を行い、放射線被ばくを必要最小限にすることを実践しています。そして、安心して検査を受けていただくために、スタッフから十分な説明を行い、患者様に納得していただき同意をいただいでから検査を行います。



- ★ 当院での被ばく線量は診断参考レベルの値と同様、もしくは低い被ばく線量となっています。

ご質問等ございましたら、お気軽にスタッフまでお声かけください。



成人CT	当院 実効線量換算	診断参考レベル 実効線量換算
頭部	2.73 mSv	2.8 mSv
胸部	4.45 mSv	7.1 mSv
胸部～骨盤	11.07 mSv	18.0 mSv
腹部～骨盤	10.04 mSv	13.2 mSv

通所リハビリテーションセンターはしもと

利用者様 募集中！



1日のスケジュール

午前 8:20 ～ お迎え

午前 9:00 ～ 健康チェック

午前 9:30 ～ 個別リハビリ、集団体操
入浴

午後 0:00 ～ 昼食

(午前半日利用の方は11:30 ～ 昼食)

午後 1:00 ～ 個別リハビリ、集団体操
入浴

午後 3:45 ～ お送り

センター到着後、血圧・脈拍・体温測定し体調管理を行います。利用者様ごとに身体状況や生活状況、目標に合わせたリハビリテーション計画をたて、理学療法士・作業療法士により約20分間の個別リハビリを行います。また、各種リハビリ機器等を用いて自主トレーニングもできます。ご自宅での生活に不安のある方、リハビリを集中して行いたい方におすすめです。

ご希望のある方はお気軽にご相談ください。お問い合わせ先：0875-63-3700 田邊



サービス種類	提供時間	昼食	おやつ	風呂	送迎
1日利用	9:30～15:40 (6時間10分)	あり	あり	要相談	あり
午前半日利用	9:00～12:10 (3時間10分)	あり	なし	なし	あり
午後半日利用	13:00～16:10 (3時間10分)	なし	あり	なし	あり
1.5時間利用	9:30～11:00 (1時間30分)	なし	なし	なし	なし

橋本病院指定居宅介護支援事業所

☆ 自分らしく生きて逝くための人生会議を考えてみませんか ☆

平均寿命は延びていても誰かの手を借りて長生きしているというのが現状です。元気な方も、いつ、もしもの時を迎えるかわかりません。自分の人生について考え、家族や大切な人と話し合って伝えておきましょう。



人生会議（ACP アドバンス・ケア・プランニング）とは

自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて本人や家族、医療者たちと前もって繰り返し話し合う取り組みのこと、つまり「もしものための話し合い」です。

- 今後の事を話し合うことでいいこと。
 - ・ 上手く自分の思いを伝えることができなくなった時に備えて、自分の気持ちや想いを家族や大切な人に伝えておくことで、自分らしく穏やかに生きることができる。
 - ・ 将来、自分の代わりに難しい決断をしなければならない時の家族の負担を軽くすることができる。
 - ・ 受りたい治療、ケア介護を家族や大切な人と話しあい、医師や看護師に相談しながら、希望や想いに沿った医療・ケアができるように努力してもらえる。
- 人生会議は自分の意思を伝えられる方が、伝えられる時に行う。
 - ・ 何らかの病気を発症した時・退院支援時・在宅移行時・施設入所時・外来受診時。
 - ・ 話をしたくなかったときはいつでも。



ソーシャルワーカー部

私たちソーシャルワーカーは、入院患者様の退院支援等で日々関わりを持たせていただいております。コロナ禍においては今までの対応ができない場面が多く、ご家族様や関係機関との連絡調整も試行錯誤しながら動いております。今回はコロナ禍での病棟での取り組み・工夫に関してご報告させていただきます。

コロナが流行する以前は、回復期リハビリテーション病棟では月に1回、患者様・ご家族様・医師・看護師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカー等が集まり、現状の報告・1ヶ月の目標・退院時の目標・退院後の生活に関して説明を行い、それに対しての協議を行ってまいりました。また、積極的に自宅への外出練習を行っておりましたが、コロナ禍においては上記の実施が困難な状況となっております。



ご家族様には口頭や書面で説明を行っておりましたが、患者様と直接会えていないのでイメージがつきにくい、退院後の生活が考えにくいといった状況が生まれていました。そこで必要時には動画を活用し、視覚的に情報を伝えるように工夫しております。電話での口頭説明では分かり難い、各職種から話を聞いて協議をしたいとのご要望から、ZOOMを利用し多数が同時に話を出せる機会を作るようにしました。外出練習に同行できない場合はケアマネジャーに相談し、自宅と病院をリモートで繋ぎ自宅環境の調整を行うといった工夫をしております。このように、ITを活用しご家族様・関係機関の方と連携が図れるように努めております。



コロナ流行により不便な点は多々ありますが、苦手意識のあったITを活用するという方法が一般的になりました。これは大きな強みにもなりますので、必要時にはこれからも積極的に活用していきたいと思っております。



新人研修

この4月に入職をした理学療法士3名、作業療法士2名、言語聴覚士1名のセラピストたちも、はや半年が経過し、ようやく業務にも慣れてきたように感じます。入職後、様々な新人教育プログラムを受講し、患者様に少しでも良くなっただけと、先輩の背中を追いかけている状況です。そこで今回は、当院で行っている新人教育プログラムについてご紹介します。



新入職者合宿風景 (2019年)

☆入職後、新入職者全員で2泊3日の合宿を4月頃に行います☆

(※ 昨年及び今年には感染予防ため実施しておりません)

ここでは、和風会コンセプトや医療人・社会人としての心得、リハビリ栄養、嚥下障害、コミュニケーション障害等の講義を受け、またグループワークなどを通して模擬症例についてディスカッションをします。この合宿を通して、同期の絆を深めます。

☆専門職として必要な内容を「知識編」「業務編」として受講します☆

「知識編」では、回復期リハ病棟の基礎、リハビリ中の感染対策、脳画像の診方、整形疾患の画像の診方、模擬症例検討会等を通して、新人セラピストとして必要な知識を勉強していきます。

入職後、目の前の患者様を通して感じたことを、この研修で少しずつ問題解決していきます。「業務編」では、挨拶等の接遇について、カルテ等の書類の書き方なども覚えていきます。これは、日々の業務を通して、ひとつずつ経験していきます。



こころの健康展

ストレス社会の今、あなたは心の健康に自信がありますか？

「こころの健康展」は一人ひとりが心の健康について関心を持ち、心の病のある人々への理解と温かい支援をいただけるように、香川県・香川県精神保健福祉協会が主催し開催しています。参加団体は県内の精神科病院、障害福祉サービス事業所、保健所、精神保健福祉センターなど41団体です。

精神障害者作成の手工芸、陶芸などの作品展示コーナーや心の健康に関するものや障害福祉サービス事業所紹介のパネル展示、手工芸品やお菓子などの即売コーナーなど、皆様に楽しんでいただきながら心の病を正しく理解してもらえよう活動しています。こころの健康に関するクイズに挑戦するクイズラリーなど、イベントに参加された方には景品プレゼントなども用意されてます。

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、昨年は開催中止。今年も参加を見合わせていましたが、患者様の活動の一環として作成した貼り絵や書道作品などを認知症病棟内に展示し患者様と楽しんでいます。



★ 作品紹介 ★



健康豆知識



知識 高齢者に多いお通じの悩み。「快腸」のため、今日からできること。

便秘は命にすぐ関わらないため軽く見られがちですが、決して「たかが便秘」ではありません。便秘の陰には病気が隠れていることもあります。また便秘は高齢者にとって精神的にかなりの負担です。いきんでもなかなか出ないことが続くと体力を消耗してぐったりしてしまうこともあります。日常生活で便秘を予防しましょう。

どんな状態が便秘？

- ✓ お通じの回数が、週に3回よりも少ない
- ✓ 便が硬い、いきんでもなかなか出ない
- ✓ スッキリした感じがしないので1日に何度もトイレに行く

週に3回くらいの排便でも問題ありません。むしろ便が硬い、スッキリ感がない場合は便秘の状態と言えます。

高齢者が便秘になる原因は？

- ✓ 水分を摂る量が減るので、便が固くなる
- ✓ 食事量が減ることで、便の量が減る
- ✓ 加齢にともなって、腹筋や骨盤肛門の周りの筋肉が衰えて排便しにくくなる
- ✓ 神経が弱り、大腸の動きが鈍くなる
- ✓ 「トイレに行きたい」と感じなくなる
- ✓ 薬の副作用



便秘を予防する。気を付けたい生活習慣。

1. 水分を多く摂る（1日当たり1.5リットル以上の水をこまめに摂取する）
2. 食物繊維を適量摂取する（多すぎるとかえって便秘になりやすいので摂り過ぎには注意）
3. 食事の時は、ひと口に対し30回以上噛む
4. あまりトイレに行きたくなくても、とりあえずトイレに座る
5. 運動をする（気軽にできるラジオ体操は、身体をねじる動きも多くおすすめ）



地域連携部

～事前面談について～

地域連携部では、安心してご入院いただくために入院前の事前面談に取り組んでおります。今回は事前面談でお伺いしていることや、お伝えしている内容についてお知らせ致します。



【お伺いする内容】

入院前の生活状況

既往歴

リハビリ目標

入院前の生活状況（動作能力や習慣、役割/家事、仕事、住環境など）や**既往歴**をお伺いすることで、患者様を理解することに繋がり、リハビリテーションに役立てます。そして何より **ご本人、ご家族の希望（目標）**があつてこそそのリハビリです。「しゃがんで花の手入れしたい」、「近所の人と立ち話がしたい」など“らしさ”が見えるご希望をぜひお伝えください。

【お伝えする内容】

入院生活について

入院の準備物

入院手続きについて

入院予定・移動方法

日常生活を取り入れた毎日3時間のリハビリテーションに取り組んでおり、例えば朝は普段着、夕方に寝間着に着替えるように、なるべく活動度の高い生活提供を心がけております。**当院での入院生活**や**必要な準備物**、洗濯物、面会、感染症対策、**入院時に必要な書類**についてお伝えしています。

○ 回復期リハビリテーション病棟の疾患の種類と入院期間について ○



① 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の脊髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	180日
② 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折	90日
③ 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後	90日
④ 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	60日
⑤ 股関節または膝関節の置換術後の状態	90日

移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。
ご希望の方はお気軽にお申し出ください。
(長距離の場合要相談)



入院相談はお気軽にご連絡ください！

地域連携部 窓口：大西 宏美 電話：0875-63-3552（直通）
認知症治療病棟への入院相談もお伺いしております。
お気軽にご連絡ください。



事務部

～インフルエンザ予防接種が始まります～

◆期間◆ 2021年10月1日～2022年3月31日（予定）

◆対象者◆ 予防接種法に基づく定期接種の対象者は以下の通りとなります。

- ① 満65歳以上の方
- ② 満60歳から64歳で、心臓・腎臓・呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級）

◆その他◆

- ・ 予診票の配布方法は各市町村によって異なります。
- ・ 新型コロナワクチンと他のワクチンとの接種は13日以上の間隔をおく必要があります。
- ・ 詳細はお住まいの市町村までお問合せください。



特定健康診査について

- ・ 2021年度の特定健康診査の実施期間が**2021年10月30日まで**となっております。
- ・ 診査は三豊・観音寺市の指定医療機関で受けることができます。
- ・ 当院は**完全予約制**となっておりますので希望される方は、お手数ですがお電話でのご予約をお願い致します。

電話番号：0875-63-3311（代表）

院内感染防止対策委員会

新型コロナウイルスに感染しないようにするために

感染経路の中心は飛沫感染及び接触感染です。しかし、閉鎖空間において近距離で多くの人と会話する等の一定の環境下であれば、咳やくしゃみ等の症状がなくても感染（空気感染）があり、感染を拡大させるリスクがあるとされています。無症状の人からの感染の可能性も指摘されており、油断は禁物です。

これらの状況を踏まえ、「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避、サージカルマスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒などをお願いします。

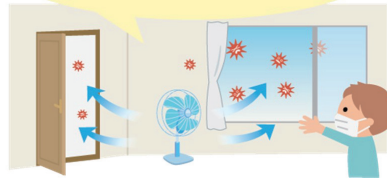
「3つの密（密閉・密集・密接）」の回避

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、2. 密集場所（多くの人々が密集している）、3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や共同行為が行われる）という3つの条件のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられています。

他の人と
十分な距離を取る！



窓やドアを開け
こまめに換気を！



屋外でも密集するような
運動は避けましょう！

少人数の散歩や
ジョギングなどは大丈夫



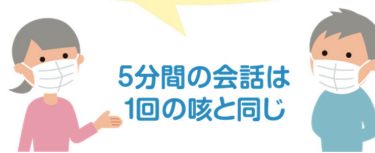
飲食店でも距離を取りましょう！

- ・ 多人数での会食は避ける
- ・ 隣と一つ飛ばしに座る
- ・ 互い違いに座る



会話をするときは
マスクをつけましょう！

5分間の会話は
1回の咳と同じ



電車やエレベーターでは
会話を慎みましょう！



ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしましょう。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに石鹸で手を洗いましょう。

職員募集のお知らせ

募集

看護師・准看護師
介護福祉士・介護職
※ 常勤・非常勤問わず



まずは、病院見学にお越し下さい！
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>
TEL 0875-63-3311（人事担当：井上）

医療法人社団和風会 橋本病院
〒768-0103
香川県三豊市山本町財田西902番地1
TEL：0875-63-3311
FAX：0875-63-2651
入院相談直通電話：0875-63-3552
E-mail：hashimoto-hp@wafukai-hashimoto.jp
HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp
発行元：橋本病院 広報委員会

医療 回復期リハビリテーション病棟 89床
認知症治療病棟 67床

介護 橋本病院指定居宅介護支援事業所
通所リハビリテーションセンターはしもと
訪問リハビリテーションセンターはしもと

